

“看到+ヒト”と“见到+ヒト”

成戸 浩嗣

(愛知学泉大学コミュニティ政策学部)

提要

“看到”和“见到”都能表达两种动作:「見る」和「会う」。日语里, 这些动作两个形式「～を見る/～に会う」来分别表达。而在汉语里, “看到”有时表达「見る」, 有时表达「会う」, “见到”也有同样的情况。“看到”和“见到”之间有不同: “看到”带有口语色彩, 而“见到”带有书面语色彩, 在表达动作的方向上也有不同之处。这些不同和“看到”、“见到”两个形式的表达内容有紧密关系。本文主要讨论“看到+人”、“见到+人”在意义上的差别。用比较各个例句来说明这两个形式在用法上的不同。

キーワード: 空間的/時間的方向性 単方向
双方向 話し言葉 書き言葉

0. はじめに

本稿は、ヒトを客体として「(ヒトの姿を) 見る」動作、「(ヒトに) 会う」動作を表わす場合に見られる“看到”と“见到”の使い分けについて考察するものである。「見る」、「会う」を表わす場合に見られる“看到”、“见到”それぞれの特徴については、“看到”、“看见”を比較した成戸 2001、“见到”、“见”を比較した同 2004 a、“见”、“看到”、“看见”を比較した同 2004 b)において考察を行ない、一定の結論に達した。しかし、これらは「会う」動作を表わす“看到”、“见到”を直接に比較したものではないた

め、両形式が「見る」²⁾、「会う」を表わす場合に見られる相違については不明な点が残っている。本稿は、成戸 2001、同 2004 a、同 2004 bで得られた“看到”、“见到”についての結論をふまえた上で、両形式の相違が、「見る」、「会う」という動作を表わす際にどのような関わりを有するかについて考察することを目的とする。

1. 「見る」に傾く“看到”、「会う」に傾く“见到”

成戸 2001、同 2004 a、同 2004 bにおける考察の結果として得られた結論は、以下の通りである。

①“看到”は「見る」、「会う」いずれを表わすことも可能であるのに対し、“看见”は「見る」を表わす形式としての性格が強い。

(成戸 2001p.167、同 2004 b p.78-80)

②“见”の意義範疇においては「見る」と「会う」が連続的な関係にある点で、二つの動作を別個の動詞によって表わす日本語の場合とは異なる。話し言葉において「会う」を表わす場合には主として“见”が用いられ、「見る」を表わす場合には“看到”、“看见”が用いられる傾向が存在する。

(成戸 2004 b p.78-80)

③“见到”は“见”に比べ、「見る」を表わす傾向がより強い。これは、“-到”が附加されることによって客体への単方向動作を表

わす成分となるためである。“见到”が「会う」を表わす場合、“见”が主体・客体間の双方向動作(=会う)を行なおうとする過程段階を、“-到”がその動作の実現段階を表わすこととなる。かつ、“看到”や、「見る」を表わす“见到”の場合に比べると、客体への視線の到達という空間的方向性が相対的に弱い反面、動作の実現段階に向けての時間的方向性が強まっている。

(成戸 2004 a p.300-303、p.307-308)

④ “见到”、“见”間の相違は、日本語の「見る」、「会う」間の相違とは本質的に異なるものである。“见到”においては、“-到”が附加されることによって“见”の語彙的意味に変化が生じているわけではない。

(成戸 2004 a p.317、p.319-320)

①、③、④によれば、“看到”、“见到”は、「見る」、「会う」いずれの動作を表わす場合にも用いられることが理解できよう。しかし、両者を直接に比較すると、以下のような相違が見られる。例えば

(1) 昨天我看到他了。

(1)' 昨天我见到他了。

の両者を比較すると、(1)は「彼の姿を見た」ことを表わすのに対し、(1)'は「彼の姿を見た」、「彼に会った」のいずれを表わすことも可能であるものの、(1)に比べると「彼に会った」の意味がより強く感じられるとされる。このため(1)は、例えば

(2) 甲：昨天我看到他了。

(昨日私は彼の姿を見かけたよ。)

乙：你在哪儿看到他的？

(どこで見かけたの?)

甲：我在公园看到他的。(公園だよ。)

乙：他看到你了吗？

(彼は君に気づいたかい?)

甲：他没看到我。太远了。

(いや、遠かったので気づかなかった。)

のような対話で用いられるのがふさわしいのに対し、(1)'は例えば

(2)' 甲：昨天我见到他了。

(昨日私は彼に会ったよ。)

乙：在哪儿见到的？(どこで会ったの?)

甲：在机场见到的。简单地聊了几句。

(飛行場さ。ちょっと話をしたよ。)

のような対話で用いられるのがふさわしいとされる。また、(1)に対しては、例えば

(3) 昨天我看到他了，他穿着一件红毛衣。

(昨日私は彼の姿を見かけた。彼は赤いセーターを着ていた。)

のように“他”の姿を表面的に目でとらえた内容の後件を、(1)'に対しては、例えば

(3)' 昨天我见到他了，他精神状态不太好。

(昨日私は彼に会ったけど、精神状態がちょっと不安定だった。)

のように“他”に会ったという内容の後件を続けるのがふさわしいとされる。(3)、(3)'の後件を相互に置き換えると、(3)、(3)'の方がより自然であるとされる。同様に、

(4) 我今天在天安门广场看到了一个外国人。

(4)' 我今天在天安门广场见到了一个外国人。

の両者を比較すると、“看到”を用いた(4)は「外国人の姿を見た」ことを表わすのに対し、“见到”

を用いた(4)'は「外国人の姿を見た」、「外国人に会った」のいずれにも解される。このため、(4)、(4)'に対してはそれぞれ、

(5) 我今天在天安门广场看到了一个外国人，他个子特别高。

(私は今日天安門広場で一人の外国人を見かけた。その人は背が特に高かった。)

(5)' 我今天在天安门广场见到了一个外国人，跟他聊了聊。

(私は今日天安門広場で一人の外国人に会って、ちょっと話をした。)

のように後件を続けるのがふさわしいとされる。

(5)の後件は“外国人”を見てとらえた外見上の特徴を、(5)'の後件は“外国人”と会って行なった動作を表わしている。(5)、(5)'の後件を相互に置き換えると、(5)、(5)'の方がより自然であるとされる。さらに、

(6) 在图书馆里常看到那个人。

(6)' 在图书馆里常见到那个人。(岩波日中)

はいずれも、「図書館であの人の姿をよく見かける」ことを表わす表現として用いることができる。但し、(6)'は上記の内容の外、「図書館であの人によく会う」の意味に解することも可能であるとされる。また、「見る」を表わす場合においては、(6)は(6)'よりも話し言葉的な性格が強く、かつ、「姿を見る」ことが一層明白な

(7) 在图书馆里常看到那个人在看书。

(図書館であの人が本を読んでいるのをよく見かける。)

のような表現とする方がより自然であるとされる。

以上のように、“看到”は「見る」動作を表わ

す表現としての性格が極めて強いのに対し、“见到”は「見る」、「会う」いずれの動作を表わすことも可能であるものの、「会う」を表わす働きの方がより強いという相違が見られる。このことは、“看到”、“见到”がともに、「見る」、「会う」いずれの動作を表わすことも可能であるという前掲の記述とは一見矛盾するように見える。しかし、“看到”、“见到”間における上記のような相違は、両者を直接に比較して初めて明白となるものであり、両形式の働きが完全に同一であるというわけではないということを示唆している。

2. 「見る」に傾く“看见”、「会う」に傾く“看到”

1で述べたことから、「会う」動作を表わす場合には、“看到”よりも“见到”の方が適していると考えられるが、このことは、“看到”が「会う」動作を表わす働きを全く有しないことを意味するわけではない。例えば

(8)○看到他，替我问个好。

(8)'◎见到他，替我问个好。(八百词 p. 262)

はいずれも「彼に会ったらよろしくお伝え下さい」という内容を表わす表現として成立する。但し、(8)は(8)'に比べ、話し言葉的なややくだけた表現であるとされる。話し言葉においてヒトを客体とする場合、“看”は客体であるヒトの姿を見ること、あるいは、主体単独の意志や都合によって一方的に「会う」ことを表わすのに対し、“见”は主体・客体双方の意志や都合によって「会う」ことを表わす³⁾。上記の(8)が(8)'に比べて話し言葉的なくだけた表現とされるのは、主体の意志や都合によって一方的に「会う」

ことが許される関係の相手⁴⁾に対して用いられる表現であり、そのような関係の相手に対してはくだけた表現を用いることが許されるためと考えられる。

ところで、①に挙げたように、“看到”、“看见”を比較すると、前者は「会う」を表わす形式としての、後者は「見る」を表わす形式としての性格が強い。例えば

(1) 昨天我看到他了。

(1)’ 昨天我看见他了。

の両者では、(1)は「昨日私は彼に会った」の意味が、(1)’は「昨日私は彼の姿を見た」の意味が強いという相違が見られる。これは、“看见”が客体の姿を表面的にとらえることを表わすためである⁵⁾。このように、(1)は、“见到”を用いた

(1)’ 昨天我见到他了。

と比較した場合には「彼の姿を見かけた」ことを表わす表現としての側面が際立つ一方で、“看见”を用いた(1)’と比較した場合には、「彼に会った」ことを表わす表現としての側面が際立つこととなる。また、

(9) 这时，家里人找进洞来，爹，娘，哥哥，

看到了妹妹，高兴得哭了起来。

(9)’ 这时，家里人找进洞来，爹，娘，哥哥，

见到了妹妹，高兴得哭了起来。

(この時、家の者が洞窟に探しに来た。両親と兄は妹の姿を見て／妹に会って、うれしさのあまり泣き出した。)

における“看到了妹妹”、“见到了妹妹”はともに、「妹の姿を見た」、「妹に会った」いずれの動作にも解されるのに対し、

(9)” 这时，家里人找进洞来，爹，娘，哥哥，

看见了妹妹，高兴得哭了起来。

における“看见了妹妹”は「妹の姿を見た」ことを表わすという相違が見られる⁶⁾。さらに、1で述べたように、(3)および

(10) 昨天我见到他了，他穿着一件红毛衣。

は「彼の姿を見かけた」ことを表わす表現として、(3)’ および

(10)’ 昨天我看到他了，他精神状态不太好。

は「彼に会った」ことを表わす表現としていずれも成立する。これに対し、“看见”を用いた場合には、「彼の姿を見かけた」ことを表わす

(11) 昨天我看见他了，他穿着一件红毛衣。

は自然な表現として成立するが、「彼に会った」ことを表わす

(11)’? 昨天我看见他了，他精神状态不太好。

は不自然とされる。

このように、“看到”は「見る」、「会う」いずれの動作を表わす働きをも有しながら、“见到”と比較した場合には「見る」の意味が、“看见”と比較した場合には「会う」の意味が際立つこととなる。このことから、“看到”は“看见”よりも「会う」動作を表わす働きが、“见到”よりも「見る」動作を表わす働きが強いと考えてさしつかえない。一方、“看到”、“见到”がヒトを客体として「見る」動作を表わす場合、例えば(6)、(6)’のような場合には、“看到”を用いると話し言葉的な表現としての、“见到”を用いるとやや書き言葉的な表現としての性格をそれぞれ帯びるという現象が見られる。

以上のことから、“看到”、“见到”間には、「見る」、「会う」双方の意味領域をカバーするとい

う共通点が存在する一方、下記のような相違点が存在すると考えられる。

⑤ヒトを客体として「見る」動作を表わす場合、“看到”を用いると話し言葉的な、“见到”を用いると書き言葉的な表現となる。

⑥ヒトを客体として「会う」を表わす場合には通常“见到”が用いられ、“看到”を用いると話し言葉的な表現としての性格が一層強くなる。

“看到”、“见到”間にこのような相違が生じるのは、いかなる要因によるのであろうか。②に挙げたように、話し言葉における“見”の主要な働きはヒトを客体として「会う」動作を表わすことであり、「見る」動作を表わす場合には、目にした事実を客観的に述べる書き言葉的な表現形式となる⁷⁾。このため“见到”の形式も、話し言葉においては「会う」を表わすことを中心的な働きとするが、「見る」を表わす働きが皆無となるわけではなく、書き言葉的な色彩を帯びながらも「見る」を表わす形式としての働きを有していると考えられる。一方、“看到”は“见到”に比べ、客体への空間的単方向性がより強い動作を表わす形式である⁸⁾。このため、客体への空間的単方向性を有する「見る」動作を表わすには“见到”よりも“看到”の方が適していると考えられる。また、“看到”によって「会う」を表わす場合においても、一定方向に視線を向ける動作である“看”の性格から見て、客体への空間的単方向性が存在すると考えられる。これに対し、③に挙げたように、“见到”が「会う」を表わす場合には、“見”が主体・客体間の双方向動作を行なおうとする過程段階を、“-到”

がその動作の実現段階を表わすため、客体への空間的単方向性は有しない。“看到”、“见到”を直接に比較した場合において、前者が「見る」の意味に、後者が「会う」の意味に傾くのは、両形式の間に存在するこのような空間的方向性の相違によると考えられる。

3. 「見る」に傾く“见到”

“见到”は、“看到”と比較した場合には「会う」動作を表わす傾向が強いとされる一方、“見”と比較した場合には「見る」動作を表わす傾向が強いとされる。例えば、1で述べたように、“看到”を用いた(4)、“见到”を用いた(4)’に対してはそれぞれ(5)、(5)’のように後件を続けるのがふさわしいとされる一方、(4)’と

(4) 我今天在天安门广场见了一个外国人。
を比較した場合には、

(12) 我今天在天安门广场见到了一个外国人。
他个子特别高。

(私は今日天安門広場で一人の外国人を見かけた。その人は背が特に高かった。)

(12)’ 我今天在天安门广场见了一个外国人
跟他聊了聊。

(私は今日天安門広場で一人の外国人に会って、ちょっと話をした。)

のように後件を続けるのがふさわしいとされる。このことから、“见到”という形式は、“看到”と比較した場合には「会う」を表わす側面が、“見”と比較した場合には「見る」を表わす側面が際立つということが見てとれる。また、

(13) 昨天我在车站看到了小王。

(13)' 昨天我在车站见到了小王。

の両者では、(13)は「王さんの姿を見た」を表わすのに対し、(13)'は「王さんの姿を見た」、「王さんに会った」のいずれを表わすことも可能であり、どちらかと言えば「会った」の意味に傾いた表現であるという相違が見られる。一方、

(13)" 昨天我在车站见了小王。(郭 2001p. 317) は、「王さんに会った」を表わすことは可能であるが、「王さんの姿を見た」は表わさない⁹⁾。(13)、(13)'、(13)"に見られるこのような相違は、具体的な場面においては、以下のような内容上の相違となってあらわれる。すなわち、(13)は「王さんの姿を見たが声をかけなかった」あるいは「王さんの姿を見てちょっと声をかけた」という場面が想定されるのに対し、(13)"は「王さんと話をした」ことが想定される。また、“见到”を用いた(13)'は、「王さんと話をした」ことが想定される点においては(13)"と共通する一方、「王さんの姿を見た」を表わすことも可能な表現である¹⁰⁾。このように、“见到”が「見る」、「会う」いずれの動作を表わしているかの判断には、“看到”、“见”のいずれと比較するかによってゆれが見られる¹¹⁾。

ところで、“看到”、“见到”によって「見る」動作を表わす表現としては、例えば以下のようなものが挙げられる。

(14) 在原始森林里常常看不到人。

(原始林では人の姿をほとんど見かけない。)

(14)' 在原始森林里常常见不到人。(同上)

(动词用法词典・原文では“见不着”)

における“人”は不特定のヒトであり、「会う」

という双方向動作の相手とはなりにくいため、“看不到”、“见不到”はいずれも「(ヒトの姿を)見かけない」という内容を表わすこととなる。

但し、(6)、(6)'の場合と同様に、(14)は(14)'よりも話し言葉的な表現としての性格が強いとされる。また、不特定のヒトを客体とする「不審な人を見かけたら、警察に通報して下さい」に対応する中国語の表現としては、“看到”を用いた

(15) 看到形迹可疑的人, 请你向警察报告。

(疑难 p. 37)

がふさわしく、“见到”を用いた

(15)' 见到形迹可疑的人, 请你向警察报告。

は書き言葉的な表現とされる。さらに、

(16) 如果到北京动物园去, 就可以看到大熊猫。

(北京動物園に行けば、パンダが見られる。)

の場合には、“大熊猫”はヒトではないため通常は「会う」動作の相手とはなり得ず、

(16)' * 如果到北京动物园去, 就可以见到大熊猫。

は非文とされる。“看到”と“见到”の間には上記のような相違が存在するため、

(17) 你看到了准喜欢。

(見たらきっと気に入るよ。)

(18) 你见到了准喜欢。

(会ったらきっと気に入るよ。)

(荒川 1990p. 17)

の両者を比較した場合、(17)においてはモノが、(18)においてはヒトが客体であると推測され、例えば

(17)' 丰田的车, 你看到了准喜欢。

(トヨタの車は、見たらきっと気に入るよ。)

(18) 李先生，你见到了准喜欢。

(李さんに会ったら、きっと気に入るよ。)のような表現とするのが自然であるとされる¹²⁾。

以上のことから、“见到”は、“看到”よりも「会う」動作を表わす傾向が強く、“见”よりも「見る」動作を表わす傾向が強い形式であることが明白となった。従って、“看到”、“见到”、“见”の三者を比較すると、話し言葉においては、“看到”、“见到”、“见”の順で「見る」動作を表わす働きが弱まっていくと同時に、「会う」動作を表わす働きが強まっていくと考えられる。このことは以下の表1によって示すことができる。

表1

“看到”	“见到”	“见”
「見る」	←————→	「会う」

このように、“看到”、“见到”、“见”という形式上の相違は、日本語の「見る」、「会う」とは異なり、二つの異なる動作を区別するための絶対的な手段とはなりきっていない。加えて、“见到”、“见”の二者は、「会う」動作を表わす場合には話し言葉的な表現形式としての性格を、「見る」動作を表わす場合には書き言葉的な表現形式としての性格を帯びるという側面を有する¹³⁾。

③に挙げたように、“见”よりも“见到”の方が「見る」動作を表わす傾向が強いのは、“-到”の働きにより動作が客体への空間的単方向性を

帯びることに起因する。これに対し“见”が「見る」を表わす場合には客体から主体への空間的単方向性を¹⁴⁾、「会う」を表わす場合には主体・客体間の双方向性を有し、いずれにしても主体から客体への空間的単方向性は有しないこととなる。一方、前述したように、“看到”は“见到”よりも客体への空間的単方向性が強い。“看到”、“见到”、“见”の三者間に存在するこのような方向性の相違は、「見る」動作を表わす働きの強弱と対応関係にあり、客体への空間的単方向性が強い“看到”、客体への空間的単方向性が弱い“见到”、客体への空間的単方向性を有しない“见”の順で「見る」動作を表わす働きが弱くなっていく。

4. 文脈から見た“看到”、“见到”と「見る」、「会う」

これまでの考察により、“看到”、“见到”が「見る」、「会う」いずれの意味に傾くかということと、“看到”、“见到”間に存在する空間的単方向性の強弱の差異との間には相関関係があることが明白となった。本章では、「見る」、「会う」を表わす“看到”、“见到”の使い分けについて、具体的な文脈を参考にしながら詳細な検討を行なう。

“看到”がヒトの姿を目にする動作を表わすのに適していることを端的に示すのは、例えば以下のような表現例である。

(19) 这时他才放下笔，抬起头来望了我一眼。

我一看到他的面孔，不由得吃了一惊。

(马烽・中国现代 p. 51)

(私は彼の顔を見て驚いた。)

(19)においては、“我”は“他”と直接向き合っているため、実際の場面において両者は「会う」動作を行なっているとも考えられる。しかし、“他的面孔”はヒトの身体部分(=モノ)であり、“我”との間には「見る」という単方向動作が成立する関係にあるため、“看到”を“见到”に置き換えると非文とされる。(19)とは異なり、

(20) 一路上，我不停地设想即将相逢的情景，当我兴冲冲而又心神不安地走进家门时，一眼就看到出来接我的您，您像孩子一样的高兴，但我却愣住了：一个声音嘶哑、头发花白、驼背的老人出现在我面前。

(陶斯亮・報告 p.630)

(私がうれしさと不安の入りまじった気持ちで家の門を入ろうとした時、子どものようにうれしそうに出迎えてくれたあなたの姿を目にした。)

における“看到”の客体はヒトである。二重傍線部は、“我”が瞬間的に“您”の姿を目でとらえ、相手が誰であるかを理解したこと、すなわち“您”の姿を「見た」ことを表わすため、“见到”に置き換えると非文もしくは不自然とされる。一方、

(21) 我坐下，又站起来，心里乱成一团，真好象八月里的冰雹子朝我身上一齐打来，不知是冷是热。二十年前的腊梅和才见到的腊梅，都在我脑子里打转。我在医院的走廊里来回踱了两趟，定了定神，又强迫自己坐下来。(谌容 p.24)
(二十年前的臘梅と、今やと会えた臘梅とが頭の中をめぐっていた。)

における二重傍線部は、二十年前の“腊梅”と

発話時に会った“腊梅”とを対比させている部分であり、“我”がいずれの時点においても“腊梅”に会ったことを前提とする表現である。このような場合に“看到”を用いると自然な表現として成立はするものの、例えば病院のベッドに寝たきりで話もできない状態にある“腊梅”の姿を見たことを表わす表現となる。このような相違が生じるのは、“看到”の働きにより、動作が“腊梅”への強い単方向性を帯びることに起因すると考えられる。また、

(22) 一次是您被带出去看大字报回来，高兴地对妈妈和我说，刚才见到了陈毅同志，尽管周围监视的人很多，但陈伯伯还是意味深长地向您点头致意，从陈伯伯的亲切目光中，您看到了党和同志的信任。

(陶斯亮・報告 p.634)

(ある時あなたは壁新聞を見に連れられて行き、帰って来てうれしそうに母さんと私に言いましたね。今陳毅同志に会ったと。見張りの人が大勢いたけど、陳氏は意味深長にあなたに気持ちを伝えたと。陳氏のやさしい眼差しに、党と同志の信頼を見てとったと。)

においては、“您”と“陈毅同志”との間に言葉によらない形の交流があったことが二重傍線部の内容から明白であるため、“见到了陈毅同志”は「陳毅氏に会った」の意味に解される。この場合に“看到”を用いると、「陳毅氏の姿を見た」を表わすこととなって表現内容との間に矛盾が生じるため非文とされる。さらに、

(23) 一天，李慰萱见到母校的祁老师，他把自己对当前局势的看法和今后的打算告诉

了老师。老师夸奖他想得对，并建议他增
学外语：“为了向科学领域里更高的山峰登
攀，外语不可不学。”

(杨世运、孙兴盛、史祥鸾・报告 p. 890)

(ある日、李慰萱は母校の祁先生に会った。
彼は当面の情勢に対する自分の見解と今
後の計画を先生に話した。先生は彼の考
えを正しいとほめてくれ、一層外国語を
学ぶように言った。)

においては、二重傍線部が“他”と“老师”と
の間に言葉による交流があったことを表わして
いるため、“见到”は「会う」を表わすこととな
る。主体・客体間に交流があったことが文脈か
ら明白な(22)、(23)のような表現の場合には動作
が双方向的なものとなるため、“见到”が用いら
れる。これに対し、

(24) 李郑生有一位情同手足、无话不谈的挚
友，他是郑生中学时的同学。也是位思想
进步的共青团员、党的发展对象。他一见到
我们就潸然泪下，半天说不出一句话来。

(祖慰、节流・报告 p. 665)

(彼は我々に会うとさめざめと泣き出し、し
ばらくの間は一言も発することができな
かった。)

においては、“他”は“我们”と言葉を交わすこ
とが可能であったにもかかわらず、しばらくの
間それができなかったことが述べられている。
(24)の二重傍線部は「会った」ことを表わして
いるが、“看到”を用いて「見た」ことを表わす
表現とすることも可能である。これは、“他一见
到我们就潸然泪下，半天说不出一句话来。”とい
う場面が、“他”が“我们”の姿を目でとらえ“我

们”との交流をまさに始めようとしている段階
であるため、「見る」、「会う」いずれの動作とし
てとらえることも可能なためである。また、

(25) 文化革命初期，我见到一次腊梅。那可
真是一次很不寻常的见面。(湛容 p. 62)

(文革の初めに、私は臘梅に一度会った。

それは実に常ならぬ対面だった。)

には“见面”という成分が含まれており、二重
傍線部が「会った」ことを表わしているのは明
白であるため、“看到”を用いることはできない。
さらに、

(26) 我再见到她时，她好像变了一个人，连脾
气都变了。(湛容 p. 61)

(私が再び会った時には彼女は別人のよう
であり、性格まで変わっていた。)

の場合には、二重傍線部の内容が“她”と交流
しなければ知り得ないものであるため、“看到”
を用いることはできない。

以上のように、ヒトの身体部分を客体とする
場合や瞬間的な動作を表わす場合、あるいは主
体・客体間の交流が存在しない場合には、“看到”
により「見る」動作として表現される傾向があ
り、このことは、“看到”が客体への単方向動作
であることと表裏一体をなす。一方、主体・客体
間に何らかの形で交流が存在する場合には、双
方向動作を表わす“见到”が用いられる。しか
し実際には、(24)のように、同一のコトガラを
“看到”、“见到”のいずれによって表現するこ
とも可能なケース、すなわち、「見る」、「会う」
いずれの動作として表現することも可能なケー
スが存在し、個別の具体的な場面においては、
「見る」、「会う」いずれの動作であるかの判断が

困難な場合がある。

5. 単方向的な「会う」、双方向的な「会う」

2で述べたように、“看到”は、“看见”と比較した場合には「会う」動作を表わす形式としての側面が際立ち、(8)のように“看到”が明白に「会う」を表わしている表現も存在する。(8)と同様の表現例としては、例えば以下のようなものが挙げられる。

(27) 我怕是难见到亮亮了，等你看到她，要告诉她，爸爸对不起她，让她跟我受委屈了。但爸爸在政治历史上是清白的，是对得起她的。(陶斯亮·报告 p.642)

(亮亮に会えないのではないかと心配だ。亮亮に会ったら、辛い思いをさせてすまなかったが、父さんは政治的にも歴史的にも潔白だから、その点は大丈夫だと伝えてくれ。)

(27)においては、同一表現中に“见到”、“看到”が共起している。二重傍線部の“看到”は、「見る」の意味に解することができるほか、(8)の場合と同様に「会う」の意味に解することも可能であるとされる。但し、“我怕是难见到亮亮了”における“见到”が“我”と“亮亮”の双方向動作であるのに対し、“看到”は後続の“告诉”と同様に“我”から“她(=亮亮)”への単方向動作であるという相違が見られる。このことは、中国語においては、客体への単方向性を有する“看到”、主体・客体間の双方向性を有する“见到”という二つの形式が同じく「会う」動作を表わす形式として並存し、前者が客体への単方向的な「会う」を、後者が主体・客体間の双方

向的な「会う」を表わすということを意味する。

“看到”の表現が単方向的な「会う」を表わす例としては(8)、(27)のほか、例えば

(13) 昨天我在车站看到了小王。

が「王さんの姿を見てちょっと声をかけた」ことを前提として用いられる場合が挙げられる。この場合には、“我”から“小王”に向けての単方向的な接触がもたれており、単に「王さんの姿を見た」ことを前提として用いられる場合とは異なる一方、双方向的動作としての「会う」を表わす

(13)' 昨天我在车站见到了小王。

とも異なる。

以上のことから、“看到”、“见到”間には次のような相違が存在すると考えられる。

⑦話し言葉においては、“看到”は「見る」、「会う」のいずれを表わす場合に用いることも可能であるのに対し、“见到”は「会う」を表わす場合に用いられる。

⑧“看到”は、客体への単方向動作としての「会う」を表わす点において、主体・客体間の双方向動作としての「会う」を表わす“见到”とは異なる。

前述したように、「会う」は本質的に、主体・客体間の双方向動作である。「会う」動作が有する双方向性は“看到”の単方向性とは相容れないかに見えるものの、上記のように、中国語では、客体への単方向動作としての「会う」を“看到”により表わすことが可能である¹⁵⁾。また、話し言葉においては、“看到”は「見る」、「会う」双方の意味領域をカバーするのに対し、“见到”は「会う」の意味領域をカバーするにとどまる。

“看到”よりも“见到”の方が「会う」動作を表わすのに適しているという現象は、2で述べたような両形式の間における空間的方向性の相違のほか、話し言葉におけるこのような両形式の役割の相違にも起因すると考えられる。

“看到”、“见到”間における「会う」を表わす働きの強さの差異は、以下のような願望表現においても明白にあらわれる。

- (28) 直到此时,他才猛醒道,他是那么强烈地想要见到她。(叶辛・小说选刊 p. 79)
- (この時になってようやく、彼は不意にさとった。彼女に会うことを自分がそれほどまでに強く望んでいたということ。)

“见到”が「見る」動作を表わす場合、“看到”よりも意志性に乏しく、主体の明確な意志による動作の結果として見えたことを表わすのではない¹⁶⁾。しかし、「会う」動作を表わす場合には明確な意志性が認められ、(28)のような願望表現が成立する。(28)の“见到”を“看到”に置き換えると、「会う」ではなく「見る」を表わすこととなって非文とされる。“看到”、“见到”間に存在するこのような相違は、“看”、“见”間に存在する以下のような相違、すなわち、

- (29) 我要看张先生。

(私は張さんのお見舞いをしたい。)

における“看”は「見る→様子を見る、お見舞いする」という単方向動作を、

(30) 我想见张先生。(私は張さんに会いたい。)

における“见”は「会う」という双方向動作を表わすこととも符合する¹⁷⁾。このことから、発話時に実現していないコトガラを表わす願望表

現の場合には、「見る」を表わす“看到”、「会う」を表わす“见到”の相違が明白にあらわれることが見てとれる¹⁸⁾。

発話時において実現していないコトガラを表わすという点においては、例えば

- (31) 我在青海,甘肃一呆就是五年,我万万没想到从此一别,就再也没能见到您——我最亲爱的父亲,甚至连一封信他们也不允许我给您写啊!(陶斯亮・报告 p. 637)
- (あの時別れてからずっと会えないなんて思いもよらなかった)

のような可能表現も同様である。(31)の場合も、(28)と同様に“看到”、“见到”の相違が明白にあらわれている。(31)の二重傍線部は「二度とあなたに会うことはできなかった」を表わすのに対し、“再也没能看到您”とすると「二度とあなたの姿を見ることはできなかった」を表わすこととなる。このような相違は、“见到”を“看到”に置き換えることによって客体への空間的単方向性が生じたためと考えられる。(31)とは反対に、

- (32) 鲁义正要向前,突然,青烟散去,姑娘的影子也消失了。鲁义急得大声喊道:“侯魁姑娘,你別走哇。”妙明和尚在一旁叹了口气,说:“唉!你再也看不到侯姑娘啦!”(「太原猴魁茶」・茶酒 p. 45)
- (「ああ、もう二度と侯さんの姿を見ることはできなくなったのう。」)

の二重傍線部は「二度と“侯姑娘”の姿を見ることはできなくなった」ことを表わす表現であり、“再也见不到侯姑娘啦”とすると、「二度と“侯姑娘”に会うことはできなくなった」とい

表 2

	客体への空間的単方向性	結果への時間的単方向性	“-到”が示すもの
“看到”	あり	あり	空間・時間的到達点
“见到”	なし	あり	時間的到達点

う内容となる。これは、“看不到”を“见不到”に置き換えることによって主体・客体間の双方向性が生じることによると考えられる。

前述したように、“看到”が「会う」を表わす場合には、「見る」を表わす場合と同様に客体への空間的単方向性を有する。このため“-到”は、客体という空間的到達点、動作の実現という時間的到達点の双方を示しているといえる¹⁹⁾。一方、“见到”が「会う」を表わす場合には、動作の実現段階（＝結果）への時間的単方向性は有するが、客体への空間的単方向性は有しないため、“-到”は、「会う」動作の実現という時間的到達点のみを示すこととなる。「会う」動作を表わす場合に見られる“看到”、“见到”間の様々な相違は、両形式の間におけるこのような空間的方向性の相違に帰結すると考えられ、これらの相違は、上記の表2によって示すことができよう。

注

1) 本稿では、成戸 2004「“见”に後置される“-到”について」を成戸 2004 a、同 2004「中国語の視覚動詞に見られる諸相—“见”、“看到”、“看见”を対象として—」を成戸 2004 bとする。

2) 無意志動作を表わす“见”、“看见”は「見える」に近い性格を有するが、ヒトを主体とする点で「見える」とは異なるため、「見る／見える」を本稿では「見る」で代表させている。

“看到”、“见到”はヒトを主体とする意志的な動作を表わすため、「見る」を表わす形式とした。“看到”、“见到”の意志性については、成戸 2005p. 61-64 を参照。

3) この点については成戸 2004 a p.305-306 を参照。

4) 主体の意志や都合によって一方的に「会う」ことが許される“看”の例としては、“下午我要去看一个朋友。”、“王老师要去宿舍看一个学生。”のように、主体と客体が同格か、主体の方が目上である場合が挙げられる。この点については成戸 2004 a p.305 を参照。

5) この点については成戸 2001p.166、p.170、成戸 2004 b p.78-80 を参照。

6) (9)と(9)”との相違については成戸 2004 b p.78 を参照。なお、(9)、(9)’、(9)”の出典は(民間 p.31)であるが、原文では“见”が用いられている。

7) 「目にした事実を客観的に述べる」とは、例えば何かを見つけた場合のように「見たい(or 見るに値する)ものを見た」という話者の肯定的価値判断を含まないということである。こ

- の点については成戸 2004 b p.70-72 を参照。
- 8) 両形式間に見られる空間的単方向性の強弱については、成戸 2005p.66-68 を参照。
 - 9) (13)のこのような特徴については、成戸 2004 b p.79-80、郭 2001p.317 を参照。
 - 10) “见到”が「見る」、「会う」のいずれを表わすかは、実際にはかなり微妙である。例えば“你第二次看到他的时候，他是一幅什么样子？”、“你第二次见到他的时候，他是一幅什么样子？”はいずれも「彼の姿を見た」ことを表わすが、前者は“他”の外見上の様子を、後者は外見以外の細かな状況をも問題としているとされる。後者の“见到”は「会う」に近い内容を表わしていると考えられる。
 - 11) “看到”も同様に、“看见”、“见到”のいずれと比較するかによって「会う」、「見る」いずれの動作を表わしているかの判断がゆれる。
 - 12) 客体への単方向動作を表わす“看”は、双方向動作(=会う)の相手となる可能性のあるヒトよりは、そのような可能性のないモノを客体とする傾向が強いのに対し、“见”の客体はヒトとなる傾向が強い。このことは“-到”をともなった場合にも同様にあてはまると考えられる。この点は成戸 2004 a p. 303-304、p. 306 を参照。
 - 13) この点については成戸 2004 b p. 71、同 2005p. 60-61 を参照。
 - 14) “见(見る)”の空間的単方向性については成戸 2004 a p. 315、319、同 2004 b p. 75 を参照。
 - 15) “明天我女朋友从日本来，你们二位看一

看。”における“看”は、「会ってその容姿や人柄などを見る」という単方向動作としての性格を有する。このような表現の存在は、客体への単方向的な「会う」を表わす“看到”の働きとも符合する。

- 16) 「見る」を表わす“见到”は、意志性が強い“看到”と意志性を含まない“见”との間にあつて、意志性が弱いながらも客体に視線が到達したことを表わす形式である。この点は成戸 2005p. 63 を参照。
- 17) (29)、(30)の相違については成戸 2004 a p.305 を参照。
- 18) 「会いたい」という願望を表わす場合、(28)、(30)のような“见到”、“见”の表現は成立するが、“他要看到张先生。”は非文である。この点については成戸 2004 b p.78 を参照。
- 19) “-到”のこのような特徴については、平井・成戸 1999p.104-105、成戸 1999p.24-26、成戸 2001p.171、同 2004 b p.72-73、p.81-82 を参照。

参考文献

- ・ 吕叔湘主篇 1983『现代汉语八百词』商务印书馆香港分馆
- ・ 荒川清秀 1985「聞く，見ルに対応する中国語について」『愛知大学外国語研究室報 第9号』愛知大学外国語研究室
- ・ 荒川清秀 1990「補語は動詞になにをくわえるか」『外国語研紀要一三』愛知大学
- ・ 原田寿美子 1997「小説内にみられる“见”“看见”“只见”等の用法について」『中国語学 244号』日本中国語学会

- ・平井勝利・成戸浩嗣 1999「中国語の“V到”とそれに対応する日本語の表現」『言語文化論集 第20巻 第2号』名古屋大学言語文化部・国際言語文化研究科
- ・成戸浩嗣 1999「中国語の“-到”とそれに類する表現について」『コミュニティ政策学部紀要 第2号』愛知学泉大学コミュニティ政策学部
- ・成戸浩嗣 2001「感覚動詞に後置される“-到”、“-见”(その2)」『コミュニティ政策学部紀要 第4号』 同上
- ・黄利恵子 2001「現代中国語における“见”の多義構造と統語的特徴」『多元文化 創刊号』名古屋大学国際言語文化研究科
- ・郭春貴 2001『誤用から学ぶ中国語』白帝社
- ・成戸浩嗣 2004「“见”に後置される“-到”について」『平井勝利教授退官記念 中国学・日本語学論文集』白帝社
- ・成戸浩嗣 2004「中国語の視覚動詞に見られる諸相—“见”、“看到”、“看见”を対象として—」『コミュニティ政策学部紀要 第7号』愛知学泉大学コミュニティ政策学部
- ・成戸浩嗣 2005「“看到”、“见到”の使い分け」『コミュニティ政策学部紀要 第8号』愛知学泉大学コミュニティ政策学部
- ・「傻妹」『中国民间教子故事』曹保明搜集整理 北方妇女儿童出版社 1985.3（民间）
- ・「太原猴魁茶」『茶酒的传说』张秀春・程景林編 吉林文史出版社 1986.8（茶酒）
- ・「永远是春天」『谶容集』谶容 海峡文艺出版社 1986.10（谶容）
- ・『动词用法词典』孟琮・郑怀德・孟庆海編 上海辞书出版社 1987.6（动词用法词典）
- ・「我的第一个上级」马烽 『中国现代文学作品选读(下册)』钱谷融、吴宏聪主編 华东师范大学出版社 1987.6（中国现代）
- ・『日语语法疑难辨析』赵福泉編著 上海外语教育出版社（疑难）1988.12
- ・『岩波日中辞典』倉石武四郎・折敷瀬興編 岩波書店 1999.2.5（岩波日中）
- ・「世界末的爱情」叶辛 『小说选刊』中国作家协会主办 2000.8（小说选刊）

(2007.1.20)

【付記】

本稿は、平成 18 年度日本中国語学会東海支部例会(2006年5月20日/於中京大学)における口頭発表「“看到”、“见到”の使い分け」を加筆修正したものである。

例文出典（ ）内は略称

- ・「一封终于发出的信」陶斯亮、「从青工到副教授」杨世运・孙兴盛・史祥鸾、「线一记先驱者李郑生的被冤杀」祖慰・节流 『全国优秀报告文学评选获奖作品集 二』人民文学出版社 1981.12(报告)